

# 名張かわまちづくり 第2回空間デザイン意見交換会 かわら版

## 第2回空間デザイン 意見交換会

### 次 第

1. 開会
2. 第1回の振り返り
3. 意見交換
4. 意見のまとめ
5. 閉会

日 時：令和5年5月17日 13:30~15:30

会 場：名張産業振興センター アスピア 会議室F

参加者：名張市民、商工会議所職員、名張市役所職員等 計16名

### 1. 開会・あいさつ (13:30)

#### ○開会宣言の後、名張市新谷室長よりあいさつ

本日の意見交換会は、前回3月に実施された第1回意見交換会に引き続いての2回目になるので、さらに絞り込んだ意見が出てくることになると思う。かわまちづくり推進に向けて活発な意見交換をお願いしたい。

#### 続いて、まちづくり協議会会長より挨拶

前回の意見交換会では、多様な意見が出され、正反対の意見も出ていたようである。今後、まちなか等についての若い人を中心にした、行政とは別の地域版の委員会を設立したいと思っている。どういう形で運営していくのか、誰が中心となっていくのか、そのような将来像が見えるような意見交換としていただきたい。

#### 続いて、ファシリテーター岩本氏の挨拶

第1回意見交換会で皆さんから頂いた意見を整理したものを後ほど報告させて頂く。また、今回は国交省として空間設計を進めたいという事務局側の都合があるので、それに沿った意見交換ができるよう進行していきたい。

### 2. 第1回の振り返り (13:35)

#### ○事務局より第1回意見交換会の振り返りを説明

第1回意見交換会では、①意見交換のねらい ②名張かわまちづくりについて ③コンセプト・利活用イメージについて ④今後の進め方について説明を行った上で、名張大橋北詰及び整備済みの親水護岸（右岸新町護岸）を視察した。途中、国交省木津川上流河川事務所矢間技術副所長より事業の概要を説明していただき、参加者からは改修にあたり黒田橋の拡幅やサクラ並木について、交流スペースの必要性等の意見を頂いた。

その後、「かわまちづくりの認知度」、「名張かわまちづくりに期待すること」についてライブ投票アンケートを実施し、参加者の思いをお教え頂いた上で2班に分かれて意見交換を行い、各班



でまとめの発表を行った。最後には「名張かわまちづくりへの今後の参加について」ライブ投票アンケートを行い、約80%の方々が今後も何らかの形での参画する意向であることがわかった。

### 3. 意見交換 (13 : 45)

#### ○事務局及び岩本氏より資料説明

河川管理者（国土交通省）、地方自治体（名張市）、場合により民間事業者による河川整備や背後地整備にあたってのコンセプト、使い込んでいくための企画・運用について検討していくものとし、トライ&エラーを繰り返して進めていくことが望ましいという説明を行い、今回の第2回意見交換会の参加者が名張川とまちの結びつきを担っていくことが期待されることを説明した。

第1回意見交換会の意見の整理と内容を踏まえたコンセプト・利活用キーワードについて説明を行った。かわまちづくりの構造は、1階は社会基盤、2階は地域ビジョン、3階はビジョンに基づく空間設計、4階はビジョンに基づく運営という多層構造となっていること。今回の意見交換内容として①コンセプトに関するしぼりこみ ②ソフト、利活用について ③ハード整備、運営についてについて検討することの説明を行った。

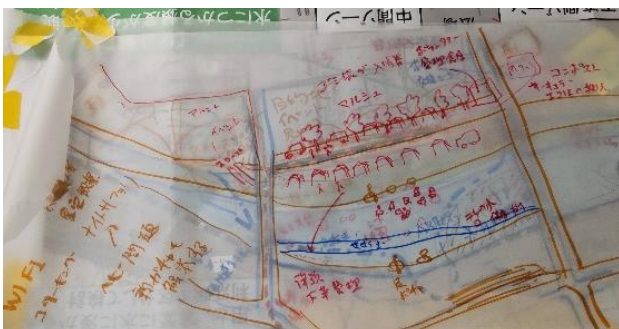
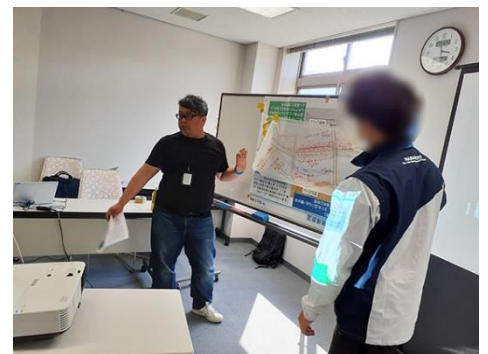
参考平面図・横断図、ゾーニング図、参考事例を用いて具体的な利活用のイメージについて説明を行った。



#### OA 班の発表

水生生物・昆虫についての学習ができるような自然体験ゾーンを設けるのに流れが緩やかな箇所を整備するとよいのではないかと、アーバンスポーツができるような整備やマルシェやキッチンカーが来れるような整備ができれば良いが、採算が取れるか実証実験を行っていく必要がある。また、中高生が滞留したいと思えるような場所になっていくことも良い。芝生の維持管理については費用も掛かる上に薬剤が必要であるため体制についても検討が必要である。

歩行者等が車道等の横断をしないように橋の下を通れるような動線を整備できるとよい。

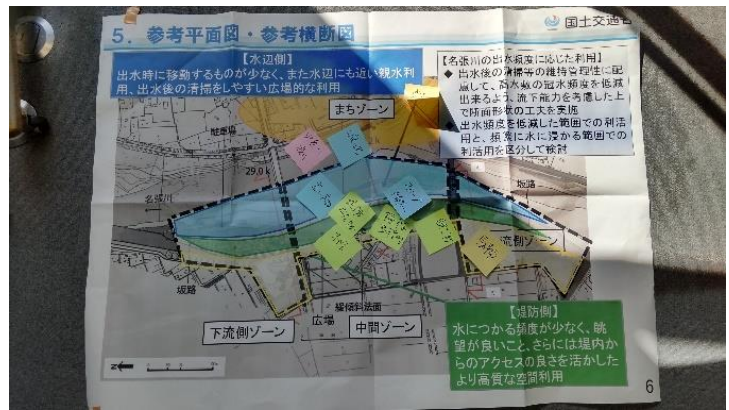
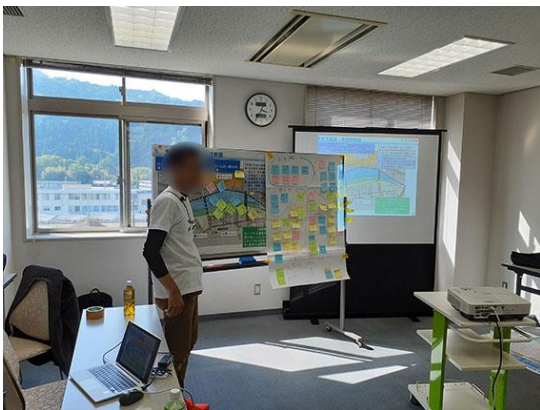


## OB 班の発表

川の整備としての理想は作りすぎないことである。しかし、防災の面から改修の必要がある中でどうあるべきかということ意見を交換した。今、何がしたいのかではなく 50 年後 100 年後にどのような河川環境や景観としたいのかイメージすることが重要である。

大阪の淀川や、東京の荒川等は河川敷ではスポーツ利用が盛んである。名張でこのような規模は難しいが、市内にはスポーツ利用可能な大きな広場が少ないので自由に遊べる広い河川敷や緩やかな堤防としたい。堤防上は自然な形での植栽を行い散策ルートになるとともに背後の山地と合わせて緑の景観を演出したい。

また、地域の相互協力によって川の危険を学ぶ場を設けた上で、小中学校による体験学習を義務化して安全に川を利用できるようにしたい。また、川に対する多様な利用性を高めていくための第一歩として石投げ大会等の水辺を活用した話題性があり楽しめるイベントを企画して開催していきたい。



## 4. 意見のまとめ

### ○名張市新谷室長より挨拶

今回のかわまちづくりは、何をするかといった決め込んだ整備ではなく、体験学習など、様々な活用ができる場、多世代が利用できる場になり、常に人が集う場になることを目指していきたい。今後もかわまちづくりについて意見等のご協力を頂きたい。

### ○岩本氏より挨拶

今回、参加者の方々から頂いた意見を検討した上で図面上に落とし込み、次回ご報告させて頂く。また、石投げ大会の実現性等についても調査していく。

## 5. 閉会

### ○今後の進め方について

今日の意見交換の結果を踏まえてコンセプトや、デザインに関する提案を第3回で提示しとりまとめる。その後かわまちづくり協議会・実行部会に報告するという今後の流れについて説明を行った。